

1 基本情報

施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要			
防災公園グループ		(指定管理者名)公益財団法人 東京都公園協会 (団体の概要)都市緑化の推進、公園や水辺を通じた安らぎとゆとりの提供を目的として設立され、公益目的事業(指定管理者事業を含む)及び収益事業を行う。			
指定期間					
H28.4.1 ～ R8.3.31(10年間)					

2 施設名		3 収支(単位:千円)						
東白鬚公園、木場公園、砧公園、駒沢オリンピック公園、代々木公園、善福寺川緑地、和田堀公園、汐入公園、城北中央公園、光が丘公園、舎人公園、水元公園、篠崎公園、葛西臨海公園、武蔵野中央公園、府中の森公園、武蔵野の森公園、小金井公園、東村山中央公園、東大和南公園、秋留台公園			令和4年度	令和3年度	令和2年度	公園別支出額		
		項目	金額	金額	金額			
		収入 計	4,007,307	3,895,089	3,787,188	東白鬚公園：85,928 武蔵野の森公園：112,314 光が丘公園：283,516 砧公園：195,098 東村山中央公園：86,801 175,440	城北中央公園：162,911 木場公園：228,259 小金井公園：292,463 舎人公園：384,933 駒沢オリンピック公園	
		内訳	指定管理料	4,007,307	3,895,089	3,787,188	水元公園：398,671 代々木公園：328,531 秋留台公園：80,690 葛西臨海公園：362,657 武蔵野中央公園：73,541 府中の森公園：144,026	東大和南公園：76,156 篠崎公園：162,067 善福寺川緑地：142,703 和田堀公園：122,604 汐入公園：71,764
			利用料金	0	0	0		
		支出 計	3,971,073	3,846,786	3,759,103			
		収支差	36,234	48,303	28,085			

4 管理運営の概要

○関東大震災100年を見据え、防災グループ全公園において防災普及啓発イベントや、地域連携防災訓練を実施しました。近隣町会だけでなく、障がい者施設や高齢者施設、病院等、公園の地域特性を活かした連携訓練を行うことにより、公園を核として地域一帯となって地域防災対応力向上に努めました。

○地元の様々な団体や専門ノウハウを持つ企業・団体等にアプローチし、連携して事業を行うことで、公園と地域の結びつきを強固なものとし、一緒に地域の魅力向上を目指しました。

5 管理状況（維持管理）

○砧公園、城北中央公園、東大和南公園の野球場内野フィールド、和田堀公園の陸上競技場フィールド、光が丘公園弓道場の弓道施設など施設改良を利用者ニーズを勘案し、予防保全的な維持管理に努め、東京2020大会以降のスポーツ利用促進に寄与しました。東大和南公園では都工事に併せてテニスコートの防風ネット設置や水飲み場を更新しました。

○砧公園では、モニターアンケート調査等の結果をもとに、日除けや自動手洗器、花壇の設置など利用者ニーズに沿った誰もが利用しやすい施設の改良を図りました。府中の森公園では、事前アンケートや障がいの子を持つ保護者から意見を聞き、トイレ手洗いの自動水洗化、広場への動線上に視認性の高い黄色塗料の車止めや点字ブロックを設置しました。

○新たに篠崎公園でロボット芝刈り機を導入しました。先行実施している小金井公園、善福寺川緑地、光が丘公園、水元公園と共に、弓道場や野球場の整備にロボット芝刈り機を活用し、効率的でさめ細やかな芝地管理を行い利用者満足度を高める維持管理を推進しました。

○昨年度までに導入した砧公園、和田堀公園、水元公園、東村山中央公園に加え、駒沢オリンピック公園、善福寺川緑地、光が丘公園、樹木管理等にGISを導入し、将来にわたって樹木等のデータ管理ができるようにしました。武蔵野の森公園では隣接飛行場に支障になる樹木について過去の作業を含めて記録し、剪定による適切な高さ制限で港湾局より感謝の声をいただきました。

○台風や大雨等気象災害時には、事前に集水桝や側溝等の清掃、危険箇所の点検・補強、水防訓練等を行い出水を防止しました。また、雪害対策として、降雪が始まると同時に主要園路や出入口を中心に融雪剤を散布するとともに、天候が回復次第、主要施設やスポーツ施設の除雪を職員と気象災害時対応業者と連携し、迅速に対応することで、翌日から利用者に支障なくご利用いただける環境を整えました。

○カシノナガキイムシ・クビアカツヤカミキリなどの木を枯らす害虫やカエンタケについては、こまめな点検を行い被害状況を把握すると共に、絶滅危惧種の生息環境に配慮した伐採や剪定で事故防止に努めました。また、自然観察会やセルフガイド等で来園者へ周知することで危険な生物に対する意識が向上し、武蔵野中央公園、東村山中央公園、秋留台公園では巡回点検に加えて来園者からの情報提供による早期の処理で、安全安心な利用環境につなげました。

6 利用者アンケート結果

実施方法：公園内で調査票を配布・回収／QRコード掲示によるWEBアンケート

施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応
東白鬚公園	4.8	4.8	4.7	4.8	4.7
木場公園	4.8	4.8	4.6	4.6	4.7
砧公園	4.8	4.8	4.5	4.7	4.7
駒沢オリンピック公園	4.8	4.6	4.2	4.5	4.6
代々木公園	4.8	4.8	4.6	4.7	4.8
善福寺川緑地	4.8	4.7	4.6	4.6	4.6
和田堀公園	4.7	4.5	4.5	4.6	4.5
汐入公園	4.7	4.7	4.6	4.6	4.7
城北中央公園	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8
光が丘公園	5.0	4.7	4.2	4.5	4.6
舎人公園	4.7	4.5	4.3	4.6	4.5
水元公園	4.6	4.7	4.5	4.7	4.6
篠崎公園	4.8	4.7	4.3	4.6	4.9
葛西臨海公園	4.9	4.9	4.7	4.8	4.9
武蔵野中央公園	4.7	4.5	4.5	4.6	4.6
府中の森公園	4.8	4.8	4.5	4.8	4.7
武蔵野の森公園	4.8	4.8	4.6	4.7	4.8
小金井公園	4.9	4.9	4.6	4.8	4.7
東村山中央公園	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6
東大和南公園	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7
秋留台公園	4.9	4.8	4.7	4.8	4.9

7 入園者数の状況（単位：人）		
施設名	当該年度	分析
東白鬚公園	179,425	子ども花壇の新設による新たなボランティア活動のスタートや、近隣高齢者施設・学校等との地域連携イベントの充実を図りました。
木場公園	1,907,419	地域連携を軸にイベントや子どもの自然遊び等で利用者ニーズに応えた取組を積極的に展開しました。
砧公園	1,730,506	ユニバーサル遊具の施設補修やクロスカントリーコースの整備などに取組み、利用者ニーズに応えました。
駒沢オリンピック公園	2,388,092	大規模なイベントが復活したほか、こまめな園内やアメニティ施設の清掃を行い、清潔な環境づくりに努めました。
代々木公園	4,164,013	バスケットコートのリノベーション、球技場人工芝化による維持管理方法の工夫など、利用者の快適性、利便性向上に取組みました。
善福寺川緑地	1,733,828	ゴミ箱の撤去により、清潔な公園環境の提供と、和田堀公園まで通して歩くノルディックウォーキング体験や生物多様性観察会など、公園への愛着を高めるイベントを実施した結果、昨年度より増加しました。
和田堀公園	1,479,922	自然林での各種体験や外来種駆除、秋に収穫できる実をキットとして配布するなど、遊んで学べる生物多様性を体感する場としてアピールしました。
汐入公園	2,078,664	園内ハーブを活用した新企画の地域連携イベントを充実させ、ハーブ園の利用促進に取組みました。
城北中央公園	967,454	利用者からの要望を反映して野球場や周辺設備を補修したほか、伝統と歴史遺産を継承して地域と連携してイベントを実施して公園の魅力を発信しました。
光が丘公園	3,225,741	地域密着型大型イベントを初めて実施したほか、ふれあいの径やサービスセンター前のバリアフリー化を推進して来園者が利用しやすいように整備しましたが、昨年度と同様の入園者数となりました。
舎人公園	2,795,812	昨年度閉園したC地区を活用した都立公園初開催のスポーツイベントを充実させ、公園の利用促進を図りました。
水元公園	2,232,767	水郷景観と都内最大規模のハナショウブの魅力を最大限に発揮するイベントを開催し、公園の魅力発信を図りました。
篠崎公園	1,165,525	地域課題を捉え、子育て世代をターゲットにしたイベント開催や、若い世代が自ら率先して災害支援活動ができるような防災訓練に取組みました。
葛西臨海公園	3,541,737	「SOG: Fest」「水仙まつり」など地域団体等との連携によるイベントの開催、鳥類園での自然環境に親しむイベントを多く開催し、公園の持つ魅力を最大限に活かした事業を展開しました。
武蔵野中央公園	811,350	地域住民と連携した防災訓練やフェスタの実施や、誰もが楽しめる多様なイベント開催、市民団体と協働による生物多様性保全活動を行い、公園の利用促進を図りました。
府中の森公園	988,703	ユニバーサル遊具の普及啓発やバリアフリーの取組み、地域と協力して実施した夏まつりなど新しい連携による取組を積極的に行いました。
武蔵野の森公園	678,697	公園の見どころをクローズアップしたイベントやのびのび親子館を活用した子育て支援、オリンピックレガシーの継承など公園の魅力を伝えることができました。
小金井公園	2,363,241	近隣小学校と年間を通して自然観察会や維持管理体験等の事業連携を実施するなど、地域交流を促して、新たな公園利用者獲得につなげました。
東村山中央公園	679,071	地域と一体となって開催したアニメイベントや公園の自然を活用した体験など、幅広い年代が参加できるイベントを行い、園内の利用促進を図りました。
東大和南公園	1,242,540	みなみこうえん祭や防災フェスタ、遊具のない公園での子供向けイベントなど、誰もが公園を楽しんで利用できるよう、地域の方々と一緒になって取組みました。
秋留台公園	788,036	陸上競技場の活用や都民協働による利用マナーの向上、クビアカツヤカミキリの防除など公園利用者と一体となった公園管理の取組を行いました。
合 計	37,142,543	



東白鬚公園

所在地：墨田区／開園面積：10.31ha

新スポットに！
世代を超えた笑顔
人々が集うスマイルパーク



地域交流が世代を繋ぐ～生きがいへの架け橋～

事業計画 No.3-②-55、111、136、4-自-2、4-イ-2／評価区分 20、22、23



新設『こども花壇』～子どもボランティア始動！～

サービスセンター前に「こども花壇」を新設。近隣保育園等を誘致し、花壇の植え付けや花殻摘み、水やり等のボランティア活動をスタート。子ども達が育てた花は、子どもから高齢者まで人々が集う新たなスポットとして人気。**ボランティア活動と公園利用を活性化。**



子ども達の笑顔あふれる
楽しい公園

みんなで育ててる
花を見に来てね♪



高齢者と子どもを繋ぐ「昔あそび体験」

墨田区や、うめわか高齢者支援センターと初連携し、高齢者が子ども達に「昔あそび」を教える体験イベントを開催。高齢者は昔を懐かしむように、子ども達は初めて知る遊びに魅了され、世代を超えた地域交流の場を提供。**地域特性を活かし、公園の存在価値を高めるイベントを実現。**



高齢者から子どもへつなぐ
「昔あそび」

健康増進「史跡ガイドツアー」

墨田区や高齢者支援センター等と連携し、「あるいて健康・史跡ガイドツアー」を開催。**区の課題となっている高齢者の引きこもりに着目し、高齢者を中心に参加者を募集。**ツアー前には、理学療法士による正しい歩き方のレクチャーを受け、歩きに自信のない方へも配慮。**地域コミュニティに寄与。**



〈連携先〉水神保育園、しらひげ保育園、鐘ヶ淵北保育園、墨田区福祉保健部、すみだ史談会
うめわか高齢者支援総合センター、むこうじま高齢者支援総合センター、東京都リハビリテーション病院



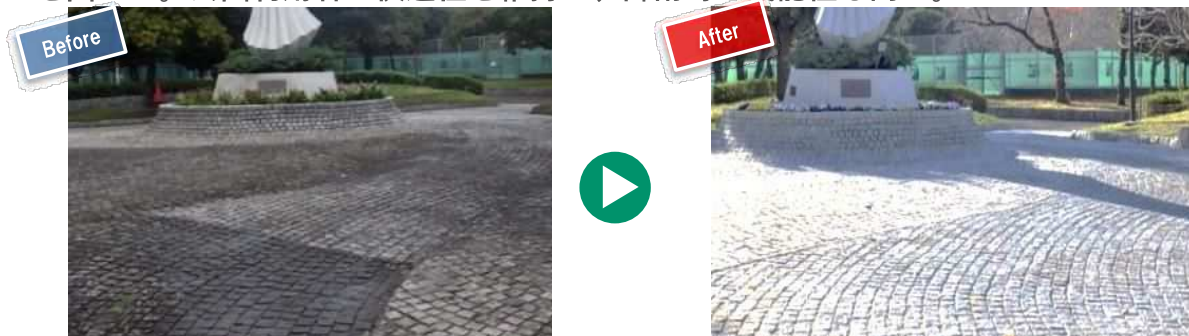
利用者の目線に立った快適な維持管理

事業計画 No.3-③-27、37、67／評価区分 2、3



「まとい広場」の洗浄

人々が集う公園のシンボルである「まとい広場」のインターロッキングを高圧洗浄し、景観向上を図った。公園利用者の快適性を維持し、降雨時の機能性も向上。



野球場グラウンド整備

土の再投入により起伏を解消し、芝生の整備を実施し、グラウンドコンディションを向上。水はけが良くなったことで、降雨後の野球場使用中止時間が短縮。利用者からも喜びの声を多数頂戴し、満足度向上に寄与。



「案内板」の改修

利用者ニーズを把握し、多様性に配慮して案内板を改修。バリアフリールートを表示を明確にし、外国語（中国語・韓国語）表記を追加した。車椅子利用者やアジア圏の外国人利用の利便性を向上。



世代を超えて防災意識の継承「防災授業」

事業計画 No.3-④-68、4-都-3／評価区分 13



公園に隣接する区立桜堤中学校と連携して、中学1年生を対象に「防災授業」を共催。職員の指導で、防災マンホールトイレの稼働訓練を実施し、発災時に防災活動の担い手となる中学生に対し、災害に関する知識の普及啓発を行い、地域の防災対応を向上。VR防災体験車訓練、初期消火訓練、まちかど防災訓練車体験、起震車体験・通報訓練、結束訓練、三角巾訓練を実施。**地域団体との連携をさらに深め、発災時の協力体制を強化。**



〈連携先〉 桜堤中地区青少年育成委員会、桜堤中学校PTA役員、向島消防署、向島消防団、墨田区



木場公園

所在地：江東区／開園面積：23.87ha

緑も遊びも文化芸術も！
地域に根差し
子どもの心に残る公園



連携の輪を拡大して地域連携イベントがさらに充実



SDG s をテーマに10団体（新規4団体）と協力し「キラキラKIBAパーク」を今年も開催！

公園からの呼びかけにより、JTBや森下文化センターなど新たに4団体が仲間入り。公園を核として様々な業種の団体が協働し、地域連携の輪が拡大。今年はテーマをSDG s とし、水素実験やSDG s ボードゲーム体験など親子で楽しみながら学びにつながるプログラムを展開し参加者から「公園で実験ができると思わなかった」や「大人でも楽しめる」と感嘆の声が聞かれました。



東京都環境公社は公園で水素実験！



公園からは
深川めして廃棄するアサリ貝殻を
再利用したスノードームづくり



初出展JTBのSDGsボードゲーム

地元木場の歴史と木に触れる体験を楽しむ



立体絵本で地元の歴史に触れ、コースター作りで初めてのノコギリ体験

新たなパートナーに三菱製紙株式会社のCSR「エコシステムアカデミー」を迎え、木育体験をプラス。

巨大立体絵本で木場の歴史に触れ、丸太を切るところから始めるコースター作りで木に触れる機会を提供。

「初めて木を切る体験をさせられてよかった」「子どもと一緒に楽しめた」と好評の声を頂き、地元に愛着を持つきっかけづくりに繋がる。



立体絵本で地元の歴史のお話し

絵本の中で記念撮影！

コースター作りの前には森のお話しも

親子で丸太切り体験



「木場こどものにわ」で運営団体と協働で保全活動を実施



子どもたちが安心して遊べる環境を地域と共に創る

運営団体「木場こどものにわネットワーク」に参加するNPOや保育園から
12団体と協働し、初めて保全作業と意見交換会を実施。

保全作業で、除草やごみ拾いなどによりケガ無く遊びやすい環境づくり。

意見交換会は、遊び方や今後の改善点などを話し合う有意義な時間に。

日常の利用では延べ約1,000人の子どもたちが思い切りどろ遊びを満喫。

保育園から「いつも遅めにくる家庭が、こどものにわの日だけは早く来る」といった話もあり、保護者にも活動の意義が浸透してきている。



思い切りどろ遊び！



運営団体の皆さんと安全に楽しく遊べる場づくり



防災訓練・普及活動で地域とのつながりを拡大



防災訓練や子どもたちへの普及を拡大

郵便局長会深川南・北支部の皆さんに向け実施している防災訓練に区内の**城東南・北の2支部が加わり参加者が拡大。**

区内39か所の郵便局にこの活動のポスターが掲示され、**郵便局との協力で、活動が地域に広がることを期待**される。

また、区立児童施設や初連携の地元NPOと子ども向け防災普及活動を共催。**子どもたちに防災を考える機会を提供。**保護者と子どもたちからも好評で、共催団体も継続を希望。

3年ぶりの江東区民まつりでも震災と水害の防災普及ブースを出展。江東区土木部に協力を依頼し水害ブックレットを配布。なお、区民まつりでは、事前に区と密に調整し安全な開催に貢献。



郵便局長会の防災施設訓練



NPOと初共催の夏休みの防災教室

多様な利用者が安心できる維持管理



段差解消など安心を提供する維持管理

バリアフリー視点の補修でインターロッキングなどの段差解消（14箇所）、視認性を向上のための車止め黄色テープから塗装への更新（43か所）、コロナ感染症対策としてトイレ手洗いの自動水栓設置（トイレ2カ所）など**誰もが安心して楽しめる環境づくりを推進。**車止め塗装対応と自動水栓設置は全箇所完了。



段差解消で安全を確保し
落ち葉もたまりず景観も改善

耐久性に優れ発色も向上



砧公園

所在地：世田谷区／開園面積：39.17ha

すべての**子ども**と
文化を育てる公園



開場3年目を迎え、さらにインクルーシブな公園へ



「みんなのひろば」でもっと遊ぼう

ボランティアや障がい者支援メンバーと連携し、**初めての「インクルーシブイベント」**を実施し約**130人**が参加。ワークショップや花育を通じて、子どもたちが互いに違いを理解する、尊重する機会となった。

ひろばをもっと知ってもらおう

初めて「見学会」を実施。計8回の開催で**120人**が参加。障がい者支援のための情報交換やひろばの説明会を行った。「サービスセンターとの距離が近くなった」など利用者からお褒めの言葉が！

みんなと
いっしょに



支援者と一緒に絵かきイベント



青空のもとで座談会

東京都が進めるユニバーサルデザイン遊具の整備に協力

(一社) 日本公園施設業協会 共催

初めて自治体や他の指定管理者を対象とした情報連絡会を開催。砧公園や品川区の事例発表、有識者による基調講演を行い様々な知見を報告。参加した**24の区市**や**管理者4団体**からも高い関心が寄せられるなど、都が進めるインクルーシブな公園づくりの理解促進に大きく貢献！

先進事例の
発表に注目



80人を超える参加者



有識者や管理者による発表



みんなのひろばの現地視察

※「ユニバーサルデザイン遊具体験イベント～砧公園に置いてみました～」

期間：9月3日(土)～10月2日(日)

〇9月11日(日)：「あおぞら保護者会」子育て支援グループによるイベント開催



見たことない遊具に興味津々！



with コロナ健康増進のためスポーツを通して公園を利用



3年ぶりの開催！ランナーの聖地を走ろう

クロスカントリーイベント「#キヌクロ」を3年ぶりに開催。特設コース（1600m）を設置し、**130人**が参加。**幅広い利用者に健康促進のための公園利用を推進！**安全確保のため、園路との段差解消や植栽移設、ピクトグラムの設置などコースの整備を実施、トラブルもなく終了。整備について、アンケートでは「**事故の予防になり嬉しいです**」「**公園の雰囲気を変えない、いいデザインだ**」など、好意的な声を**90%以上**いただいた。



ファミリーパークの不整地を走る貴重な体験



久しぶりの開催を楽しむ参加者



新規設置されたピクトグラム看板

近隣団体と連携した文化・芸術のイベント開催



公園と美術館の一体感を楽しもう

近隣の世田谷美術館および長谷川町子美術館と協力して、6回目となる絵画コンクールを開催。199点集まり、世田谷美術館で開催し大勢の来場者があった。豊かな感性に**観覧者から感嘆の声**。イベントで製作した大布の作品も展示。



コンクールのポスター



インクルーシブイベントで製作した大布

4年振りの開催！駒澤大学高等学校吹奏楽部の演奏を緑の中で楽しもう

駒澤大学高等学校吹奏楽部総勢55人の生徒による演奏会を開催。幅広い利用者が観覧に訪れ、「**4年ぶりの開催でとても感激した**」との声が多く聞かれた。**820人**を超える観客が集まったものの、声を出さずに拍手で応援！



吹奏楽部55人によるハーモニーが公園に響く



子ども防災とペット防災を公園から情報発信



来園者や近隣住民に普及啓発を行う「防災フェスタ」。世田谷区砧地区まちづくりセンターによる子ども防災ワークショップなどに約**350人**が参加。区保健所のペット防災関連のパネル展示を行い、**災害時ペット危機管理士の資格を有する職員による解説も行った**。多くの犬連れの利用者が足を止めパネルを見る様子から、**ペット防災への関心の高さ**がうかがえた。



目黒星美学園と法人格砧町自治会で協力開発した「魔法の携帯トイレ」ワークショップ



防災アプリのウォークラリー



小学生も心肺蘇生体験



ペット防災士による解説



駒沢オリンピック公園

所在地：世田谷区、目黒区／開園面積：41.35ha

イベントやスポーツ、防災を通じて**地域の中心となる公園**



駒沢ファンタジア！3年ぶりのリアル開催！



駒沢オリンピック公園の開園記念日（12月1日）を地域と一体となって祝うイベントとして、3年ぶりに現地で開催。**新規参加6団体を含む計11団体**が出演し**地域連携を拡大して開催**。地域と連携して実施したことで、活動の場を提供するほか、世田谷区で活躍する学校や団体、店舗による野菜や花苗の販売やハンドメイドのワークショップ等、**地域に根差したものを中心**とし、地域の活性化に寄与。

昨年好評だったアプリを活用した「駒沢ファンタジア アプリdeポイントラリー」もあわせて開催した。リアルイベントとアプリの初の同時開催により、様々な形で来園者にイベントを楽しんでいただくことができた。



来場者に様々なプログラムを提供することができ、たいへん喜ばれた。

「花と光のムーブメント」とのコラボ実現

同時開催の「花と光のムーブメント」のライトアップに合わせ、区内のピアノ奏者とソプラノ歌手に依頼し、**夜の演奏会を実施**。**両事業の相乗効果につながるとともに**、公園の新しい魅力を創出。演奏終了後には自然と大きな拍手が沸き起こり、「**ブラボー!!**」の声が聞こえるなど、多くの方に演奏を堪能していただくことができ、夜の賑わいを作り出すことができた。



ライトアップをバックにピアノとソプラノのコンサートを開催



SS広場マナーアップ向上への新たな取り組み



今後もSS広場でマナーを守り利用してもらうため、**新たな啓発の取組み**を計画。東京都スポーツ文化事業団と協力し、上田豪氏ら**プロスケーター3名**を講師に迎え、**初めて**マナー向上を目的としたスケートボード教室を開催。講師の経験をもとに、子ども達に「広場から出るときにそのまま乗って出ないようにするための出入口直前でのかっこよくボードから降りる方法」などをわかりやすくレッスンし、「ルールを守るとはかっこいいことだ」と子どもたちに伝えることで、保護者も含めルール・マナー向上への理解促進に導いた。保護者からは「またやって欲しい」「次はいつですか？」等の声をいただき、高い評価を得た。



教室を通して、ルール・マナーを守ることの大切さについて説明、参加者の意識向上を図った。

大規模イベントの監督指導及び安全で地域に配慮して開催



イベント来場者だけではなく、一般来園者にも快適に公園を利用していただくとともに、**近隣からの苦情を最小限に抑えた**。イベントについては感染防止対策のため入場規制を設けて開催。主催者が想定する以上の来場者数となり、事前に設けていた待機エリアで対応できなくなった際には、主催者に厳しく指導し臨時の待機列を設けて来場者を誘導させるなど、公園職員の迅速な判断と対応により、**来場者や一般来園者の安全を確保し適正化を図った**。



職員による巡回。



待機列での混雑も迅速に監督指導を行ったことにより安全確保が図られた。

新規団体との防災訓練により更なる地域連携を強化



深沢地区10町会との訓練など、地域連携防災訓練を継続して実施。また近隣団体に**何度も足を運び積極的に呼びかけをし、新規4団体**（前年度新規なし）と**地域連携防災訓練を実施**することができた。連携先の拡充が図られたことにより、**地域連携の強化につながった**。

【新規団体との防災訓練】

- ・4月25日 社会福祉法人あかねの会 参加者19名
- ・7月24日 玉川消防少年団 参加者53人
- ・9月30日 深沢ミル保育園 参加者149人
- ・12月25日 目黒区柿の木坂地区町会 参加者100人

※目黒区の町会を集めての実施は**初!**





代々木公園

所在地：渋谷区／開園面積：54.05ha

公園で過ごす時間が価値ある
1 ページとなるために



コートへの愛着、感謝を育む取組み！ 利用者、企業が心を一つに！

事業計画 No.4-自-4 / 評価区分 23



◆バスケットコートの課題◆

設置から17年が経過したバスケットコート、多くのプレイヤーから愛されてきたがゴミ散乱やコートの劣化が顕著化。

課題解決① ゲーム×ゴミ拾いでマナー改善！

「利用者が公園やコートに愛着を持ち、自分たちのコートは自分たちで守る」という意識がより芽生えていくことを願い、「PICK UP PLAYGROUND（ゲーム×ゴミ拾い）」イベントを開催。



課題解決② バスケットを愛する皆でコートリノベーション

コート利用者、バスケットを愛する全ての人たちと共に実現することで愛着やコミュニティが生まれることに期待、リノベーションに必要な資金集めはクラウドファンディングを活用



★利用者と共に課題を解決！！

利用者、企業等が一体となることで、価値ある取組みとなった。

★公園のスポーツブランドも向上！！

取組みが多くの方に届くことで、バスケットコートの存在価値が更に高まった。

★プレイヤーの声！！

デザインが生まれ変わりコートが明るくなった。気持ちよくプレーできている。
ゴミが落ちてないか意識する方が増えた。その場で出会ったプレイヤーに伝えている。
支援したことで更に大事にしたい気持ちが強くなった。



公園から発信！YOYOGI PARK FKT！！

事業計画 No.3-②- 99、152 No.4-自-3 / 評価区分 23



◆コロナ禍でも繋がりながら走る新しいランニング文化！

ランニングの「聖地」である代々木公園で約1.6Kmのオンラインマイクロレース開催。



★参加者の声！！

自分の都合にあわせて参加できた。面識がない方と一緒に走っている感覚が楽しめた。人が多い公園なので記録を狙うような走りにはできないと思っていたけど、時間帯を変えることで迷惑をかけないで走れることが分かった。

大人だけじゃない子供も楽しめる「バラフェスタ」

事業計画 No.3-②-64、No.4-イ-2、/ 評価区分 21



◆ゆったり堪能！2つの会場で多彩なプログラムを提供！！

大人向けバラガイドツアーや子供も楽しめるワークショップでバラを満喫。夜は初めての試みとして野外ミニシアターを上映。



野外ミニシアター



母の日カード作り



アロマソルト作り



バラガイドツアー

★代々木のバラを知ってもらうため！！

開花の様子を3ヶ月に渡ってTwitterで紹介。春秋あわせて10万回以上の閲覧。

★参加者の声！！

バラがあることを知らなかった。Twitterで知りイベントを楽しみにしていた。

地域との連携を深め防災から交通安全まで地域の安全を守る

事業計画 No.3-④-62、63 No.4-協-1、自-1 / 評価区分 30



◆警察と発信「防災×SAFETY ACTION」

地域の安全を守る代々木警察署とのコラボイベント
防災、防犯、交通安全など楽しみながら学べるプログラムを提供。

◆3年ぶりの開催「防災ライフフェスタ」

東京デザイン専門学校と連携しインフォグラフィックを活用した
防災普及啓発動画を制作。
災害時の備えや行動を視覚的に分かりやすく伝えるプログラム
として多くの方に見ていただきました。
アンケートでも約90%の方が「言葉で聞くより分かりやすい」と高評価。



わかくさ号交通安全教室





善福寺川緑地

所在地：杉並区／開園面積：18.08ha

サクラ並木と心やすらぐ緑の回廊



公園利用の適正化の取り組み



利用者の声に応える

「ゴミ箱周辺に家庭ゴミが捨てられている」、「カラスにゴミが荒らされている」等、多くの利用者よりご意見が寄せられた。そこで都と協議を行いながら、昨年度よりゴミ箱撤去に向けて使用中止に取組み、令和4年度は利用者の理解のもと、合計6箇所のゴミ箱を撤去。利用者からは「**ごみが減ってよかった**」「**ゴミを散らかすカラスが減った**」等、**美観向上に関する感謝の声が寄せられ、衛生管理の質の向上を図ることができた。**



善福寺川緑地の魅力を多角的に発信



善福寺川緑地と和田堀公園を多角的に活用したイベントを開催

善福寺川緑地から和田堀公園にかけてスポーツ教室、秋の実を使った工作キット配布、生物多様性観察会と、**1日を通して公園全体を楽しめるイベントを初めての試みで実施。**午前の善福寺川緑地から和田堀公園までを歩くノルディックウォーキング体験では、「また遊びにきたい」と言ってくれた。午後は、園内で見つけられる数種類のドングリ・マツボックリ・赤いハナミズキの実などを、工作の見本写真を入れて袋詰めした工作キットの配布を行った。広場に遊びに来ていた親子連れに声掛けをすると「こんな素敵なキットを無料でいただけてうれしい」と大変喜んでいただけた。

善福寺川緑地・和田堀公園 自然ふれあいフェスタ2022

◇ノルディックウォーキング教室



◇工作キット配布



都心にある貴重な自然の豊かさを感じていただくことで**公園への愛着を一層高め、その存在感を高める**ことができました。



地域と防災力の向上



地域で取り組む防災

近隣町会等と連携し、防災訓練を実施。公園では、防災パネルの展示や「わたしたちの防災力」、「防災公園ハンドブック」の配布、園内の防災施設の紹介を行い、参加者に防災公園の役割などについて説明することで防災の普及啓発を図ることができた。

杉並警察署や杉並消防署と連携し、成田地区連合町会防災会・阿佐ヶ谷南三丁目町会との合同防災訓練を実施。参加者が署員に直接指導を受け訓練を体験することで防災に関する意識が高まり、防災活動が身近に感じられたとの声を多くいただいた。また、来園者の目に留まることで、近隣住民の防災意識や防災対応力向上にもつながった。



杉並区成田青少年育成委員会や杉並消防署、警察署と連携し、近隣小学校3校の親子と中学生ボランティアが参加するウォークラリー形式の合同防災訓練を実施。防災施設を地域の方と組み立てたことで、施設を興味深く見ていただき、防災公園について理解を深めていただく機会となった。



公園を取り巻くニーズに配慮した改善



安全・快適に利用できる入口の改善

これまで、固定式の車止めであったため、緊急車両の進入ができなく、大きく迂回することを余儀なくされてきた。今回、都と協議を行い可動式車止めへの交換や植栽柵撤去など実施したことで、緊急時や災害時等に**緊急車両の通行が可能**となった。また、アスファルト舗装にリリーフペイント43.4㎡を行うことにより、**入口景観向上**となり視認性も向上した。来園者から「公園のイメージが大きく変わった」「明るくなった」など大きな反響を得ることができた。

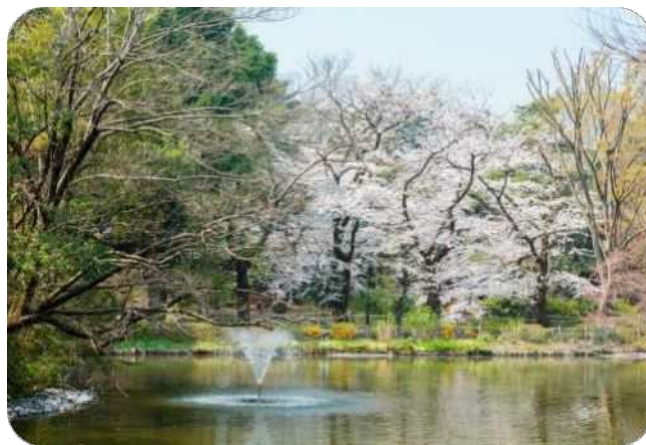




和田堀公園

所在地：杉並区／開園面積：26.05ha

生物多様性の保全と活用 区部の貴重な自然を守る公園



遊んで学べる生物多様性



貴重な在来種による生態系を守るために

11月に「自然ふれあいフェスタ2022」を実施。普段立入制限している済美山自然林の中に入り、林内の自然環境の仕組みや、冬ごもりの準備をする生きものの姿、**樹林環境を保全するための取組に触れてもらう**ことができた。「落ち葉だまり」に入り、そこで暮らす昆虫に触れ合うとともに、生きものが棲み続ける場所づくりとして「天地返し」や落ち葉集めを体験し、協働作業を通じて、生きものの暮らす様子を知ってもらえた。

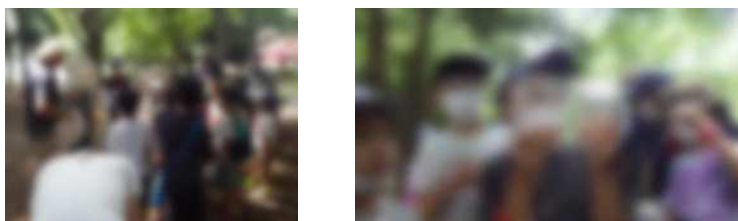


生態系を守るために必要なことを学ぶ機会を提供できました。

来園者と取り組む外来種駆除

絶滅したコウホネを再生させるプロジェクトの一環として、ザリガニ釣りを楽しみながら「生物相が回復する基盤づくり」の**プロセスの重要性を伝えた**。150人以上が参加するなど都民とともに継続する希少植物の保護・再生への更なる理解と浸透につなげた。

子どもたちに多様な生物が生息できる環境づくりを理解・体感できる場を提供できました。



自然体験できる場の提供

園内のドングリ、マツボックリ、ハナミズキの実など秋に収穫できる実をキットとして袋詰し配布。**今年度新たに「プレーパーク」と連携**し、自然体験と同時に楽しめるイベントとなりました。

サービスセンターとプレーパークの連携が強化されるイベントとなりました。



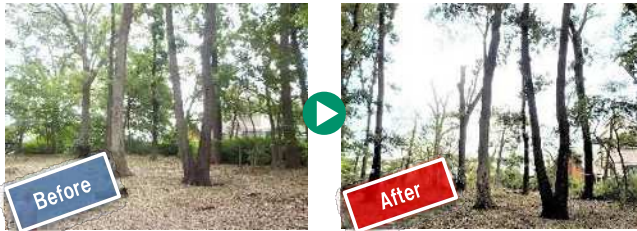


地域住民のニーズに対する迅速な対応



直営・委託による樹木剪定への対応

- ◆樹木管理計画補完のため、**地域の声を傾聴**
- ◆迅速、的確な対応に**感謝の声を多数**頂いた。



警察や杉並区と連携した深夜騒音対策

- ◆深夜・早朝の公園利用による騒音問題
- ◆地元警察や区と連携し夜間パトロール強化
- ◆近隣に対し迷惑行為として通報するよう共有
- ◆視認性が高い利用案内を新たに掲示



地域と防災力の向上



近隣施設と取り組む防災力向上

夕日ヶ丘広場にある保育園と初めての防災訓練を実施。公園職員による施設の紹介や馬橋消防署による水消火器訓練を行い、子どもたちからは「ベンチがかまどになると思わなかった」「公園で遊ぶ時はかまどベンチを探して教えてあげる」などの声が多くあり、これを機に防災に関心を持ってもらえた。近隣の高齢者在宅施設と連携し、施設からの避難訓練と合わせて、防災施設の体験や防災公園・防災施設の説明を行った。防災トイレの使用方法を説明した後、車イスから実際に便座に座っていただいた。高齢者施設への防災施設の普及啓発につながった。



今後も訓練を継続することを双方で確認。地域の防災力向上と普及啓発につながりました。



施設の紹介や水消火器訓練を実施



意義ある訓練だね

防災トイレの体験や防災井戸ポンプの稼働訓練を実施

利用マナーの向上



飼い主のマナーアップ

杉並区と共催でしつけ方教室を開催。散歩中の拾い食い防止方法などの講義、実践では参加者ひとり一人が犬と一緒に体験するプログラムでチャレンジしていただいた。

ペット防災に関しての内容も組み入れ、発災時におけるペットとの避難方法などを学び、発災時に家族同然のペットとの関わり方を改めて考えるきっかけとなり、**防災の普及啓発を行うことができた。**





汐入公園

所在地：荒川区／開園面積：12.93ha

花とスポーツで紡ぐ交流 結び目となる公園



ハーブの魅力発信～ハーバルライフの提案～

事業計画 No.3-②-113、136、No.4-自-6／評価区分 23、24



「愛犬とハーブケアを楽しむ」

ハーブガーデンのハーブを活用して、愛犬と一緒に使えるハンドクリームやケアスプレー、お散歩トートバッグを手作りし、**ハーブ園の魅力向上と新たな公園ファン層の獲得に成功。**



- ・汐入公園オリジナル「愛犬と一緒にハーバルライフ冊子」
- ・ calendula保湿クリーム(肉球保護、保湿、炎症予防)
- ・ ケアスプレー(虫よけ、ブラッシング)
- ・ お散歩トートバッグ

子ども達と育てる花壇

近隣の保育園や児童館と連携して、花壇の植付体験や水やりボランティア、花壇に集まる幼虫やチョウの観察会等を実施。子ども向け環境教育の場を提供し、**四季を通じて植物を愛でる心を養い、育てる楽しさや生命の大切さを学ぶ機会を創出。**



地域ニーズに応え野球教室を開催

事業計画 No.3-②-37、No.4-イ-3／評価区分 20



(株) 読売巨人軍 ジャイアンツアカデミーと地元の少年野球連盟と連携し、野球教室を開催。少年野球チームに所属する子ども達には、野球が上達する練習方法や技術指導を、野球未経験の幼児に向けては親子でキャッチボールなど、野球に親しんでいただけるプログラムを提供。礼儀や協調性などを学ぶ場を提供。





安全安心な公園利用を

事業計画 No.3-③-27、41 / 評価区分 1、2



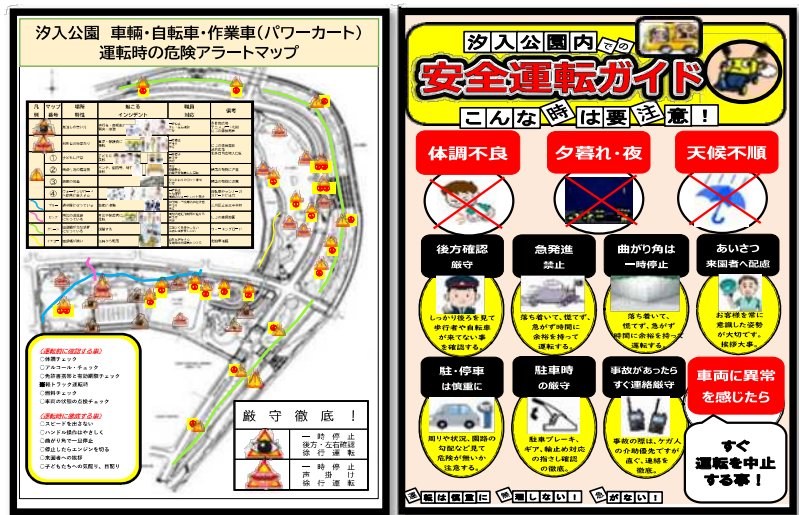
トイレ洋式化を推進

利用者のニーズに応え、2号トイレの便器を和式から洋式へ交換し、開閉しやすいよう扉の形状を改修。あわせて高压洗浄等の特別清掃を行い、利便性と快適性を向上。



園内での安全啓発ポスターの作成

職員の気づきをまとめた「危険アラートマップ」を作成。職員間で共有し、未然に事故を防止。さらに「危険アラートマップ」の要点をまとめ「安全運転ガイド」として、簡単に自己点検できるシートを作成。自転車利用や、園内を出入りする委託業者や工事関係者の作業車等の安全啓発にも活用。随時、追記や修正を行い、最新の情報を更新することにより、事故やトラブルを軽減。



地域一帯となって防災力を強化

事業計画 No.3-②-87、94、96、3-④-32、64、65、No.4-自-3 / 評価区分 23



人とペットの命を守る！「みんなの防災まつり」開催

南千住警察署、荒川消防署、自衛隊台東出張所、学校法人立志舎、(株)カインズと連携し、災害時の自助・共助・公助について体験して学べる「みんなの防災フェスタ」を東白鬚公園と同時開催。車輛展示(災害対策用車輛、ポンプ車)や水消火器訓練、発災時に必要なペット防災展示など多彩なプログラムを展開。両公園8カ所のイベントブースを訪れると景品(防災グッズセット)がもらえるスタンプラリーが大好評。東白鬚公園と同時開催したことにより、**地域一帯の防災意識の向上に寄与。**





城北中央公園

所在地：板橋区、練馬区／開園面積：25.30ha

いつまでも**愛**される
みんなで育てる公園



みんなで決めた！「茂呂広場」



パークミーティングを開催

練馬・板橋区内の警察消防関係者や区の職員、周辺の町内会代表者計21人が参加。新規開園地名の候補決定など建設的に公園運営や地域の課題について関係者の合意を丁寧を得ることで、更に質の高い管理運営につなげた。

→ **公園を核とした地域連携の強化**



調節池工事所長も参加。より地域性が増した協議会（9/22）

ボランティアとの公園連絡協議会

公園連絡協議会を計7回開催。地域のボランティア団体が行っている活動を気軽に楽しみながら参加してもらう体験イベント「オータムフェスタ」の実施内容を協議し、公園の魅力や価値向上につなげた。

→ **4団体のボランティア活動をお披露目！**



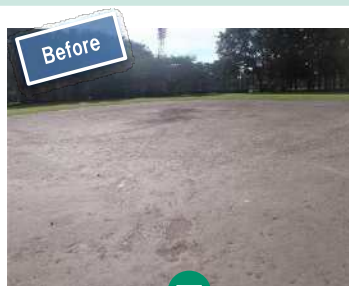
オータムフェスタの参加記念品を受け取る親子（11/13）

野球場と周辺施設の快適なフィールドを改善



計画的な施設維持管理の推進

野球場は利用頻度が高く、整備されてから長年が経過し不陸、排水不良などの支障が目立っていた。利用者からの改修要望の声を**補修計画に反映**し、今年度も計画的に野球場の表層補修を実施。不陸改善され、特に**降雨後の水はけについては、大きな効果が確認**された。施設周辺のトイレの改善にも努めた。利用者からは「使いやすくなった」「キレイになった」と感謝の声をいただいた。



快適さが増した小2野球場

周辺のトイレ補修工事等も実施！
利便性や快適性の**相乗効果**を発揮！！



屋根の補修や再塗装等により清潔感アップ！



キレイに再塗装された水飲み場



伝統と歴史的遺産を継承し地域と連携したイベントの開催



練馬区の学芸員による 栗原遺跡の紹介

栗原遺跡の特別公開の実施にあたり、時間予約制を採用。106人が参加しコロナ禍の新しい日常に相応しい、イベントを催行。

感染防止対策にも特に留意しての開催で多くの参加者に公園資源の魅力を発信



練馬区の学芸員による解説

板橋区の学芸員による 茂呂遺跡の紹介

定員制を採用し複数回実施。253人が参加し、栗原遺跡の特別公開と合わせて、予定人数の180%、昨年度比154%と多くの方が参加！

参加者の熱心な傾聴ぶりにガイド役の学芸員も確かな手ごたえ



板橋区の学芸員によるガイドツアー

子どもたちに呼びかけ、 次のイベントを案内

「おえかきセット（紙とクレヨン）」20セットを子どもたちに事前に先着配布。オータムフェスタでの遺跡の絵の募集・展示を案内。

オータムフェスタで子どもたちの絵が11点展示できました。



おえかきセットの配布

地域の防災のために！ 地域の課題解決に応えた防災訓練



きっかけはパークミーティング

パークミーティングに出席した練馬区仲二町会の町会長からの申し出により、公園が主体となって練馬区、練馬消防署、平和台図書館に参加協力を働きかけて町会との信頼関係を深め、賑やかな合同訓練を開催。



参加4団体による事前打合せ（1/17）

防災訓練初の試み！持出訓練の実施！

ありきたりの訓練ではない工夫として、公園が町会の参加者に対して、ご家庭から発災時に役立つアイテムを持込み、それを練馬区の職員が称えることで次回の楽しみや動機づけにつながる取組を実施。



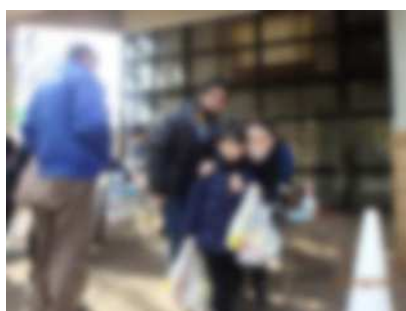
練馬区所有の起震車



練馬消防署による消火訓練



平和台図書館による紙芝居



練馬区・公園・町会提供のプレゼント



家にある発災時に役立つアイテムを持参し、見せてくれた方に防災メダル授与



光が丘公園

所在地：練馬区、板橋区／開園面積：60.78ha

地元住民が主役！
人とのつながりを大切にする
コミュニティパーク



JA東京あおばと初の共同開催、地域密着型大規模イベント



「公園フェスタ」と伝統の「農業祭」が合体！相乗効果で来場者も大満足

厳重な感染対策で
安心！



出展者も来場者も地元の人

秋の恒例イベント『光が丘公園フェスタ』と3年ぶりの開催となる「JA東京あおば農業祭」が初めて連携し、公園主催イベントとしては異例の2万人超が参加！地域の様々な人たちを巻き込んだ大規模イベントを成功させた。地元で人気のキッチンカーをはじめ、どんぐり工作やステージなど公園ならではの親子で楽しめる内容を企画。全体をフェンスで囲み、入場制限など徹底した感染対策を施したほか、公園がステージを主導したことで、音の苦情0を達成！「公園フェスタ」「農業祭」という異なる客層が融合する新たな地域振興イベントとなった。

広報PR

光が丘公園オリジナルマスコットキャラクター「ひかりんぐ」を活用し、バルーンや子ども向けのぬりえコーナーを設置。行列ができるほど好評で、ひかりんぐポーズと一緒に撮影するなど、ひかりんぐの認知度の向上とともに、公園への愛着や親しみを創出。練馬区の「ねり丸」やJA東京あおばの「たねりん」も誘致し、大いに賑わった。

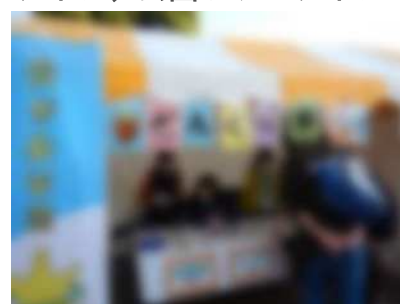
公園の関連団体が集結

警察、消防、自治体など、それぞれがブースで活動紹介を行い、イベントを盛り上げた。

【協力団体】東京都環境局、NPO法人生態工房、光が丘警察署、光が丘消防署、カインズ、練馬区、みどり環境ネットワーク！、花壇ボランティア、公園ボランティア



「ひかりんぐ」に
大コープン！





Welcome ! の姿勢で利用者たちと直に向き合う



飼い主側に寄り添った啓発。新たなコンセプトによるマナーアップ

これまでの「禁止」「注意」の指導から、飼い主に寄り添いながらマナー啓発を図るということをコンセプトにした取組み。今年度は対面による「**飼い主に直接アプローチする**」方法で、(株)カインズと初めて現地開催プログラムを実施。ドックオーナー向けのサービスの提供を行いながらマナー啓発を行うことで、**公園はドックオーナーにとって過ごしやすい場所であることを認識**してもらい、そのためにもマナーが必要であることを多くの飼い主に発信。

【開催プログラム】

- ・ ペット用グッズ作り
- ・ ペット用防災アイテム展示
- ・ ペットパネル譲渡会
- ・ マナーブック配布 など



ダメ、禁止のネガティブワードではなく、丁寧な説明で理解を求める

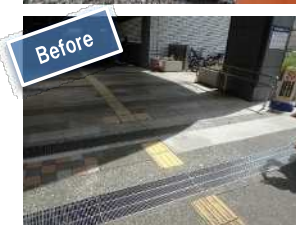
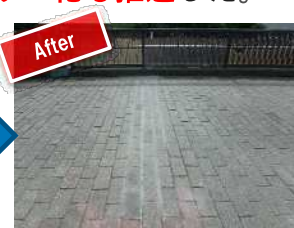
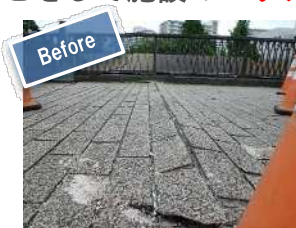
スケートボードが利用可能なエリアを明示して、他の利用者とのすみ分けをしている。スケートボード利用者は若い世代が多くマナーが悪い印象を持たれやすいため「スケボー＝悪者」のイメージでとらえてしまいがちだが、利用者1人1人と直接の対話で丁寧に利用上のマナーを説明することで、**少しずつマナー向上の輪を広げている。**



街のメインストリート“ふれあいの径”のバリアフリー化の推進



利用者が最も多い光が丘駅からサービスセンターに至る主要園路の不陸があった**88箇所以上**を補修。タイル補修には養生期間の短い樹脂モルタルを採用するなど、**工期短縮を図り利用者の負担軽減に努めた**。また、サービスセンター入口のスロープに手すりを追加したり、グレーチング上にも点字ブロックを追加したりなどをして施設の**バリアフリー化も推進**した。



3年ぶりに復活！地域連携の模範となる光が丘の“共助訓練”



地域防災力の向上！！共助訓練といえば光が丘

毎年3月に、光が丘地区の集合住宅管理組合や自治会などの**全58団体**からなる光が丘連合協議会（光連協）との地域連携防災訓練を実施。炊き出しや要救助者の救護など、地域の住民が自主的に参加する共助訓練のスタイルが初期から確立されており、もともと意識が高い**地域住民による災害リスクに対する意識、理解、練度がさらに向上。**





舎人公園

所在地：足立区／開園面積：64.96ha

子ども達の元気な声と
笑顔があふれる舎人公園



公園を遊びつくそう！初開催のイベント群

事業計画 No.3-②-37、61、106 No.4-イ-3、4 No.4-自-1 / 評価区分 20、23



◆足立区サッカー協会と初連携！

陸上競技場で**大規模なサッカー教室を初開催**。サッカー需要は高く、もっと気軽に触れあえる機会や良質な環境で楽しんで欲しいとの思いから、足立区サッカー協会に働きかけ実現。初級者から上級者まで楽しめるプログラムにイベント**満足度100%を達成**。



◆都立公園初上陸

(株)イースト、(株)feel.と連携し、子どもの体力の現状と適合するスポーツを提案する「**マイ・スポーツ・テスト**」を**初開催**。立ち幅跳び・握力測定・閉眼片足立ち等、全6種目の体力を測定し、自分にピッタリのスポーツがわかるプログラムに約200人の参加者も大満足！！

◆子どもの好奇心を高める

足立区ボーイスカウトガールスカウト協議会と連携し、C地区の遊具を活用した地域交流イベント「**めざせ！冒険の丘王**」を**初開催**。遊具の安全な使い方や、発災時にも役立つロープワークを学んでいただき、遊ぶことの楽しさと利用マナー向上に寄与。



立ち幅跳び



握力



閉眼片足立ち



フィードバック





地域一帯となり防災力の向上を～大規模防災訓練～

事業計画 No.3-④-14 No.4-協-4 / 評価区分 13



東京湾北部を震源とする首都直下地震（足立区で最大震度7）により、日暮里・舎人ライナー舎人公園駅で多数の負傷者が発生した想定で、負傷者を病院まで収容、処置するまでの大規模な訓練を実施。今年度は、2022年に開院した東京女子医科大学付属足立医療センターが連携先に加わり、「東京DMAT」の導入によるトリアージ訓練や誘導訓練等、発災状況を具体的に想定した実践的な訓練を合同実施。舎人公園を核として地域施設が一帯となって防災力向上と連携を強化。



◆DMATが出勤する様子



◆園児の誘導訓練



◆警視庁の警察犬訓練



交通局・消防庁・警視庁・東京女子医科大学付属足立医療センター・近隣保育園等

地域施設と大規模地域防災訓練を年4回実施

利用者目線に立った維持補修

事業計画 No.3-③-55 / 評価区分 2



舎人公園A地区とB地区を往来できるA地区側の歩道橋階段下は、大雨時には歩道橋からの流水により、尾久橋通りの歩道や植栽帯に雨水が滞留。当該エリアは、道路管理地が含まれているため、東部公園緑地事務所とともに、道路管理者である第六建建設事務所と工事調整の協議を重ね、歩道橋下に排水設備を新設。排水機能が上がり、歩道や植栽帯への滞留水を劇的に改善され、歩行者の快適性や利便性が向上。



Before



After



水元公園

所在地：葛飾区／開園面積：96.68ha

生物多様性を守る 緑と水の憩いの水元公園



防災活動を軸にした地域との交流

事業計画 No. 3-②-22、3-④-12、13、14、61、64 No.4-協-3／評価区分 1、13、15



今年度より防災を軸とした地域交流の取組をスタート。葛飾区に協力を仰ぎ、**水元公園地区独自の地域連絡協議会を発足**し、地元町会、学校、企業等約30団体がメンバーとして賛同。公園が中心となり、**日常の防災や災害、安全・安心等について意見交換や防災訓練等を定期的に実施し、地域の連携力や防災力を向上。**

◆小学校に出張！「防災授業」

水元小学校126人の1年生に向けて、防災公園としての役割や防災施設、発災時に備えた備蓄品、持ち出し品を解説。防災について学べる機会を提供し、将来を担う地域の子ども達の防災意識向上に貢献。



◆非常用浄水装置を寄贈

前澤化成工業（株）より、非常用浄水装置を3基寄贈。様々な水源から飲料水やトイレ用排水としての活用が可能となり、重要なライフラインである水を確保し、防災対応力を強化。



<設置場所>

- ・サービスセンター内
- ・水辺の生きもの館内
- ・グリーンプラザ内

◆職員による夜間巡回を強化

花火騒音や焼き芋大会と称した焚火の延焼など地域の課題となっている案件には、職員による夜間パトロールを強化。公園利用のルール違反者に対して粘り強く対応。適正利用を推進し、園内秩序を維持。



◆地元自治町会連合会と連携

地元の各自治町会連合会と打合せを重ね、葛飾区や学校、近隣公園と合同で防災訓練を実施。水元公園地区の自助共助対応力向上と連携を強化。新規連携先の開拓として民間企業8社に賛同いただき、イベント等に招致し、連携拡大。





津軽三味線でおもてなし

事業計画 No.3-②-70 No.4-自-2 / 評価区分 23

3年ぶりの開催となったふれあいフェスティバルでは、津軽三味線の全国チャンピオンである阿部金三郎・銀三郎兄弟をお招きし、**津軽三味線ライブを初開催**。演奏と絶妙なトークで会場を沸かせ、大好評。



◆大盛況の津軽三味線の生演奏やキッチンカー

ハナショウブガイドツアー

事業計画 No.3-②-30、63 No.4-イ-3 / 評価区分 20

都内最大規模を誇る花菖蒲園のガイドツアーを開催。水元公園ならではのハナショウブの品種の紹介や、アヤメやカキツバタとの違いや管理方法のほか、公園の歴史を職員が丁寧に解説し、**ハナショウブの魅力発信と、公園への再訪の機会を提供**。



◆大好評のハナショウブガイドツアー

妥協を許さない維持管理

事業計画 No. 3-③-32、42、55 / 評価区分 1、5、6、14



◆施設のリニューアル

集中的にグリーンプラザの老朽化対策に着手し、温室の大型窓のレールやシャッターを補修。長寿命化と快適性を向上。今後は都民ギャラリー、トイレ等のリニューアルを予定。



◆シャッターのスプリングシャフト交換

◆オニバス保全

オニバス池の生育状況に即した緻密な水位管理を実施し、順調に生育。常に池に罾を仕掛け、アメリカザリガニ等を精力的に駆除。葉や茎への被害が抑制され、生育の障害は除去。



◆大量に繁茂したオニバス

◆景観に即した樹木管理

直営による高所作業車を使用した作業を14回実施。メイン園路沿いの枯枝の落枝事故発生を未然に防止。計画的な高木剪定等により、安全と景観に配慮した樹木管理を徹底。



◆直営による高所作業



篠崎公園

所在地：江戸川区／開園面積：31.27ha

地域の**和**をつなぐ
篠崎公園



公園が地域防災の核に

事業計画 No.3-②-22、④-11、12、13、60、61、62 No.4-協-2、4 / 評価区分 22、30



地域連絡協議会で活発な意見交換！

発災時における初動対応の確認や、避難場所としての防災公園の役割を確認し、地域と公園の防災連携をさらに強化。

地域住民代表や自治体、警察、消防など
地域一帯での防災意識向上と地域連携力強化



地元に自助の意識を根付かせる取組

江戸川区や警察署、消防署、近隣自治会等と連携し、防災訓練を実施。地域住民自ら率先して災害支援活動ができるよう実践的な訓練内容とし、地域一体で防災のスキルアップを実現。



〈訓練内容〉

- ・初期消火訓練
- ・煙体験訓練
- ・救命技術訓練
- ・防災船活用訓練
- ・防災施設稼働訓練

東京都高台化工事への積極的な協力

事業計画 No.3-③-29、58、60 / 評価区分 32



高台化工事に伴う、園路の不通や、トイレ等の利用制限、停電、断水等が発生。**利用者の安全確保と利用上の不便解消を最優先事項に掲げ、公園から積極的に調整を図り、各工事業者等との打合せを約60回以上行い、情報共有を徹底。**利用者目線に立った調整を図ったことにより、**工事に対する苦情要望は1件もなく、円滑な施工に積極的に協力。**



高台化工事に関する情報は、園内掲示のほか、ホームページやTwitterで速やかに情報発信



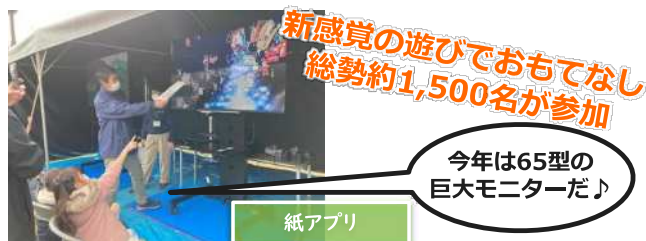
篠崎っ子集まれ～笑顔溢れるイベント続々開催～

事業計画 No.3-②-55、65、67、82、84、87、110、119 No.4-イ-2、4 自-2 / 評価区分 20、21、23



食とスポーツのハーモニーフェスティバル

誰もが楽しめるバリアブレイクスポーツや、描いた絵が動き出す紙アプリ、ケータリングカーなど、子育て世代をターゲットとしたプログラムを多数展開。公園機能を最大限に発揮し、地域コミュニティの場を提供。



アジサイまつり

アジサイのクイズラリーやガイドツアー、しおり作りが体験ができるワークショップを開催。魅力的な企画が功を奏し、約300名が参加。縮小開催の中、約9割が満足と回答。アジサイ園の魅力を発信。



ドングリまつり

工作教室やゲーム、クイズなどを開催。地域の子ども達100名が参加。ドングリについての知識を深め、自然と親しむ機会を提供。



ツイッターの発信強化

「公園価値」につながるツイッターのフォロワー数、インプレッション数最高値を目指し、植物や生物、イベント、高台化工事の情報等、利用者が欲しい情報をリアルタイムに発信。フォロワー数も着実に増え、インプレッション数は110万超と過去最高を記録。



2面連結野球場へ『ロボット芝刈り機』初の複数台試験導入

事業計画 No.3-③-37、38 / 評価区分 2



野球場2面の外野エリア約1haを超える広大な面積でのロボット芝刈り機導入は、ホンダ技研としても初の試み。課題を抽出し、適切な導入台数や広大な面積を実施する際のロボットの動きの確認など野球場モデルを標準化。これまで夏の草刈作業にかけていた時間を（8人、8日間）飛地の作業等に時間を割くことができ、公園全体の維持管理が良好に保つことに貢献。また、野球場の稼働日も増え利便性も向上。今回の実証結果をもとに来年度本格導入を決定。



葛西臨海公園

所在地：江戸川区／開園面積：77.85ha

利用者本位の公園を目指して！
人と海と花と鳥と



水仙の名所が葛西臨海公園に集合！ 冬に魅せる花と香りの大花壇



国内水仙の名所から集まった花々 水仙の名所が集まり賑わいを！

3年ぶりに水仙まつりを開催。平成17年から取り組んできた水仙の名所づくりも、下田市など水仙名所各地からの寄贈を加え、**約5万7千球の大規模花壇**となり、水仙まつりに来園したお客様からは、一面に広がるスイセンに感嘆の声がもれました。

日本の水仙の名所、下田市、福井市、鋸南町、洲本市が一堂に会し各地の温かい郷土料理のおもてなしや勇壮な下田太鼓の演奏で賑わいました。参加者からは水仙の名所が繋がったことに感謝をいただきました。



水仙まつり
来園者**17,000人**

満開のスイセン花壇とにぎわう会場

葛西臨海公園で過ごす秋の一日



SDGsを共に考える

江戸川区SDGs推進室と連携しSDGs啓発イベントを開催。鳥類園や生物多様性を知る展示や、環境・文化・人権などSDGs目標を知る出展を通し、来園者と共に学ぶ機会を提供。SDGs目標達成に向けた身近な取組を広く発信しました。



来園者**約8,000人**

ステージやブース出展でSDGs目標を伝える

文化共生をテーマに

ホノルル市と姉妹都市の江戸川区と協力して、地元のフラダンス団体や本場のフラダンサーのステージなどを楽しむ催しを開催。海を臨むロケーションを背景に、会場の参加者が一緒に踊ったり、ワークショップでハワイゆかりのものを作成して楽しみました。



来園者**約7,000人**

フラ文化に触れる、共生の都市江戸川区と共に

子供たちに思い出に残る一日

動物とのふれあいイベントを、公益財団法人えどがわ環境財団と共催。ポニーの乗馬や小動物とのふれあいなど、子供たちには笑顔があふれ、思い出に残る一日を提供しました。



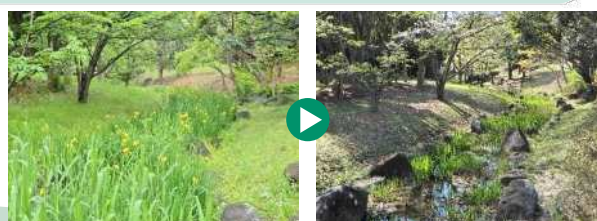
葛西臨海公園に動物園がやってきた！

芦ヶ池の流れの復元によるパークビューの創出



3か年計画に基づく景観復元

「芦ヶ池再生3か年計画」に基づき、3年目は污泥処理を実施。1年目「流れの復元」、2年目「ほとりの景観回復」を経て、日本庭園からつながる開園当初の流れを復元し、**パークビューとして生まれ変わらせました。**





鳥類園で輝く子供たちの目



鳥類園を子供たちの秘密基地に

夏休み期間中、鳥類園で生きものの展示やミニツアー、生きもの相談室を開催。また、**今年度は初めて専門家とともに魚類や水生昆虫の調査を市民参加型で観察会を兼ねて実施**。親子の参加が多く、目を輝かせて観察する子供たちの姿が見られました。調査で見つけた生きものは生体展示し、**訪れた多くの方に鳥類生きものの多様性を伝えました**。

子供たちの来場数は
2019年比**261%**増



昆虫探しのミニツアー



子供も参加の調査・観察会

近隣小学校と連携し地域学習をコーディネート



生物多様性から学ぶ、公園の自然環境

臨海小学校4年生へ、**鳥類園で野鳥や水生生物などの生きもの、干潟や淡水池、汽水の自然を解説**。クリスタルビューからも海鳥観察。最後に大観覧車に乗車し、上空から葛西全体を俯瞰しラムサール条約登録湿地の葛西沖と鳥類園の関係など、職員が解説してきた内容を確認してもらいました。



双眼鏡でバードウォッチング、間近に見る野鳥に子供達も大興奮

公園の防災機能を体験から学ぶ

臨海小学校2年生へ、災害時の防災公園の機能について解説。かまどベンチや災害時対応トイレなど、公園の防災施設や機能を体験したり、東京水辺ラインの水上バスでの避難者・物資輸送訓練に参加することで、**防災公園としての公園の役割を学習してもらいました**。



災害時対応トイレで便座に座る体験



高潮・津波時の防潮堤の役割を解説

防災公園としての役割をみんなで共有



水上移送、初めての官民合同訓練

葛西警察署との合同救出救助訓練にて、首都直下地震や荒川流域大規模水害等の災害発生時に被災者や帰宅困難者などの救出を想定し、**初めて官民一体となった水上輸送訓練を実施**。参加を呼びかけた園内事業者の各団体と一体となって訓練することで、避難者の救助**発災時の協力体制が構築できました**。



園内事業者各団体と協力



警視庁・千葉県警の警備艇や東京水辺ラインの水上バスが参加

また、障がい者学童クラブに通う子供たちや、地元の12自治会と防災訓練を実施。津波避難訓練も同時に実施し、ハンディキャップのある方の誘導訓練にもなりました。

障がい者にやさしい公園づくり



バリアフリーの視点から園内通行者にも配慮した施工を実施

駅からつながる視覚障がい者誘導施設を、カーヌ・スラロームセンター付近まで416m延長。**東京2020大会のレガシーを引き継ぎ、近隣カーヌ・スラロームセンターへの園内誘導を便利にしました**。





武蔵野中央公園

所在地：武蔵野市／開園面積：11.24ha

豊かな自然環境の中で
笑顔があふれる公園



障がい者・子ども・高齢者 みんなが楽しめる多様なイベント開催

事業計画 No.3-②-37、107 No.4-自-5／評価区分 20



自治体や企業と連携したスポーツイベントで地元住民の交流の場に！

武蔵野市スポーツ推進委員協議会の指導のもと、みんなで楽しみながら学べる**障がい者スポーツの体験会**を実施。



企業と連携したヨガ教室を初開催。父親の参加など、**積極的な子育て意識を促進**し、公園活用の場を提案。



健康遊具を活用した運動教室を初開催。健康維持&仲間づくりによって、**高齢者の社会的孤立感解消の一助に！**



- ◆15人の障がい者と「共に」スポーツを楽しむ機会にを創出し、**心身ともに理解**を深めた。
- ◆同世代の子どもを持つ親同士で悩みを分かち合い**コミュニティー形成の場**となった。
- ◆健康遊具の使用方法を学び、**心身の健康維持**や**仲間との共生**に貢献した。

地域住民が発災時の即戦力に！「地域連携防災訓練」「防災フェスタ」

事業計画 No.3-②-36、No.3-③-22 No.3-④-14、67、68、70 No.4-自-1、No.4-協-3／評価区分 13



隣接の高校生が発災時における要配慮者の対応を学ぶ



武蔵野市、武蔵野消防署、武蔵野北高校、千川地域防災会と連携し、地域連携防災訓練を実施。高校生に防災保管庫や公園の防災施設を周知し、避難所の開設方法等について学ぶ、**発災時に即した訓練**。

車椅子を使用した要配慮者の移動体験を行うことで、車椅子を押す側、押される側の目線や避難所までの経路確認でき、**発災時の各団体の役割分担を明確**にした。

地域住民が防災ボランティアに



防災フェスタにて説明★

地元自治会等が防災施設を説明。
地元住民が発災時に防災施設を運用できる環境を整えた。

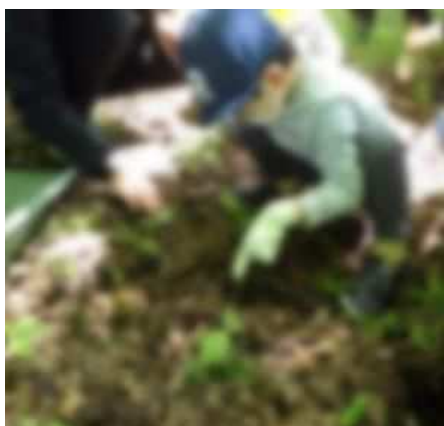


生物多様性保全アクションと自然観察会

事業計画 No.3-②-45、46、55 No.3-③-32 No.4-①-2 / 評価区分 6



希少種の保全に向けた維持管理 市民団体と連携し、自然観察会を初開催



大切な生き物を守ろう！

- カワラケツメイの種子採取
- フジバカマの補植
- 児童発達支援施設と協働で
ホタルブクロの移植

昼・夜の二部制で実施し、**昼は解説型の観察会、夜は発見・共感型の昆虫観察会を開催。**

地元の「武蔵野市の森を育てる会」代表が講師となり、ナラ枯れの被害や公園での里山の雑木林見本園づくりの取組PR、地元の雑木林を管理することの大切さを伝えた。



地元の雑木林を知ろう！



アプリ「Biome (バイオーム)」

撮影した生物名が分かる！

- ◆生き物を大切にする心を醸成し、生物多様性を普及啓発。
- ◆コロナ禍でも安心して観察できる非接触のセルフガイドアプリ併用

地域の力でつくる「ガーデンショーはなまつり2022」

事業計画 No.3-②-36、98、123 No.4-自-6 / 評価区分 22



近隣小学校や花壇ボランティア、一般来園者が花壇を維持管理

「地域一丸となって作り、盛り上げるガーデンショー」「イベント後も、近隣住民との協働で花が咲き続ける魅力いっぱいの花壇」をテーマに、武蔵野東小学校や発達支援施設に通う子ども、花壇ボランティア、一般来園者と都民と協働で花苗の植付や水やり、見ごろを終えた花の抜根まで、延べ230名以上が花壇の維持管理を実施。



花苗**2,000**株を植付



- ◆昨年度の公園連絡協議会の意見を反映し、協働での花壇管理を実施。
- ◆子ども同士が協力しあうことで、多様性と思いやりの心を育む場を提供。



イベント当日は、本物の花を使用したワークショップや、花みくじ、花壇にちなんだクイズラリー等を開催。来園者参加型のイベントを開催し、SNSで掲載していただくことで、公園の魅力を広く発信。



府中の森公園

所在地：府中市／開園面積：17.14ha

だれもが楽しめる
芸術と文化の公園



地元の力とつくった公園の新しい魅力～もり公園の夏を楽しもう！～

事業計画 No.3-②-15、33、35、56 No.4-イ-3 / 評価区分20、22



「和太鼓の演奏&子ども縁日」と「ムーンライトで飾る広場de星空観察会」



伝統芸能 武蔵国府太鼓と南京玉すだれ



●地域の7団体と協力し夏の公園を楽しむイベントを初開催。パークビュースポット「花の広場」と「日本庭園」で賑わいを創出。参加者400人超

●電力逼迫の中「ソネングラス」や「ムーンライト」を使用し、環境にも見た目にも優しい灯りが「花と光のムーブメント」と一体となり、夏の夜のフотスポットを演出！

「とても綺麗☆」「こんな光景は初めて」と、来園者からの絶賛の声多数



スーパーボールは大人気



日本庭園バックに怪談

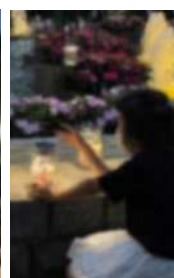


太陽光発電
ソネングラス



手作り
ムーンライト

幻想的な
ライトアップ



カスケード壁泉が復活

事業計画 No.3-③-27、81、88 / 評価区分2



●正門のビュースポット「カスケード壁泉」のポンプ4台のうち2台を交換し、**全ての壁泉が復旧した**。水景により壁面の絵も引き立ち、**美しい本来の景観を取り戻した**。



公園の顔として来園者をお迎え

ボランティアが活躍した落葉清掃

事業計画 No.3-②-36 No.4-協-1 / 評価区分3

●延べ116人のボランティアと園内全域を落葉清掃。

「正月に公園が綺麗になった！」と、お褒めのお言葉をいただく。



作業箇所や分担をしっかりと相談して効率よく実施。公道への落葉の流出も防ぎ、近隣住民からも感謝された。

ゴミ袋180L×500袋の
落葉を回収！



みんなが知ってる「もり公園にじろ広場」

事業計画 No.3-②-27、60 / 評価区分30



リサーチに便利な動画配信

●障がい者の声を受け、利用の際の知りたいことがわかり**事前準備に役立つ動画**を制作し、SNSで配信。



地域団体との連携を強化

●アンケートを踏まえ、近隣の専門学校と連携し遊びプログラムを実施。**他の親子と一緒に遊ぶ機会を提供**

●来場者6,200人の「府中市市民協働まつり」に参加。パネル展示で広場を周知。

●**公園連絡協議会を開催**。**市内8団体**と広場の見守りについて意見交換。

1周年イベントで愛着度UP

●広場のマスコット名を**誰でも参加できる**投票で決定。

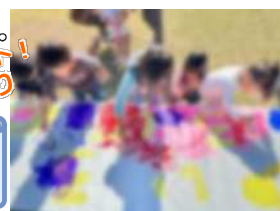
全投票数 579票
名前は「にじーな」



●広場のルールがわかるクイズラリーなど6つのプログラムを実施。

みんなでイベント！横断幕づくり

参加者 600人



バリアフリーへの地道な維持補修

事業計画 No.3-③-27、36、38 / 評価区分2



車止め・点字ブロックの視認性を向上

●公園入口車止めの黄色塗装施工、トイレ前点字シート102枚の更新補修、日本庭園利用案内板を4カ国語表記に更新し、**安全安心を推進**



日常の点検により見つける不陸への対応

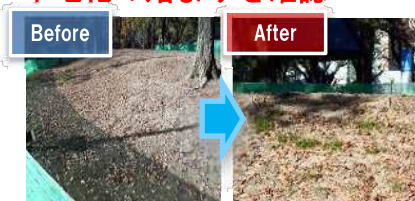
●園路と草地境界部の段差解消、インターロッキング根上がり、園路舗装の劣化16箇所を補修し、**躓きによる転倒を未然に防止**



小さな不陸も見逃さない

子ども達の遊び場の安全のため**新技術BSC工法導入**

●遊具広場と流れの間の**林床の裸地化**を解消を目指し、400㎡を耕耘、碎石を除去して微細藻類の吹付を実施。**草地化の始まりを確認**



滑りやすく危険だった斜面が改善

地域とともに進める防災

事業計画 No.3-④-13、14、15、41、61、62、63、65 No.4-協-2、3-自-5 / 評価区分13、15



初の連携訓練：経年の働きかけで、市立浅間中学校198人、消防少年団42人との訓練が実現。**若い世代への普及啓発**を推進。

子ども防災イベント：消防署と地域のボランティアグループとの連携により、**子ども達への防災の普及啓発**ができた。

近隣自治会の訓練：ワークショップとパネル展示で、**近隣住民へ防災スキルの伝達**と**公園の防災機能の周知**ができた。

防災連絡協議会開催：**新規の福祉施設**含め7団体と情報共有。

AEDによる人命救助：利用者が倒れた際、研修を受けた**職員が迅速にAEDを操作し、利用者の呼吸と意識が回復**。美術館と連携し緊急車両を誘導、無事救急隊に引き継ぎ、**表彰**を受けた。



消防少年団と連携訓練



子ども防災イベント



武蔵野の森公園

所在地：府中市、調布市、三鷹市／開園面積：38.57ha

イベント満載！いつ来ても楽しめる
オリンピックレガシーパーク



新規取り組み続々！防災の地域連携をアクセルアップ

事業計画 No.3-④-14、41、61、62、67、68、70 No.4-協-3 / 評価区分 13



三鷹市の大規模行事2種に初参加

●40団体参加、来場者2,700人のイベント「みたか防災マルシェ」、40団体800人参加の「三鷹市総合防災訓練」に**初参加**、市民へ防災公園の機能・役割を普及。

府中朝日町会防災訓練を初実施

●コロナ禍で途絶えていた地元町会の訓練を公園から働きかけ。公園を会場に防災トイレ設営等を**初実施**。**参加62人**。

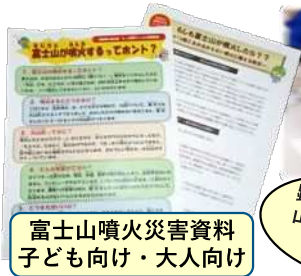


けやきの森学園防災訓練に最大規模連動

●要支援生徒との訓練に、各防災公園の職員を過去最高26人派遣、190人参加、学園教員との情報交換会も実施し**職員の防災力アップ**。

新テーマ「富士山噴火に関する防災」

●「キッズ防災フェスタ」で、噴火の防災に関する**オリジナルパンフレット**作成・配布、学芸大学防災教育ラボと**初連携**による「火山灰実験室」で噴火災害防災普及。**参加427人**。



公園の見どころ・自然・歴史の周到なクローズアップ策

事業計画 No.3-②-55 No.3-③-82 / 評価区分 5、20、22



公園の魅力浮彫りイベント「ブラむさ森」

●みんなが知りたい、公園の興味深いトピックを、**ボランティアガイド**が分かりやすく解説する「**ブラむさ森**」を季節ごとに**シリーズ化**。大反響で、質疑応答が20分も途切れないことも！

時期	内 容	参加者
5月	題材 調布飛行場の話	38
	ガイド 飛行場管理事務所課長	
9月	題材 調布飛行場の戦争の歴史	54
	ガイド 掩体壕を保存する会	
11月	題材 コニファー園の魅力	17
	ガイド 維持管理担当造園会社社長	
3月	題材 ふるさとの石の話	46
	ガイド 府中高校地学部	



コニファー園を計画的活性化

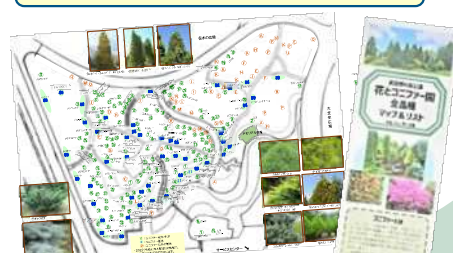
全36種250本の
毎木調査
樹名札設置

「全品種マップ
& リスト」
を**発行・配布**

土留め補強
ロープ柵設置
で**通路整備**

剪定、支障
木・雑草除去
で**美観向上**

ガイドイベント初実施



コニファー園パンフレット新規作成・配布



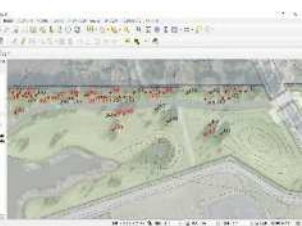
GISによる高度制限抵触木の管理

事業計画 No.3-③-42/評価区分 2



港湾局から安全管理に対する感謝の声

調布飛行場の高度制限に抵触見込み木(全高木61本)をGIS図面に取り込み、デジタル管理により26本剪定。



正確な全木の位置、高さデータと剪定記録により、高度制限抵触を的確・迅速に処理できる。



歴史事実の「語り部」活動活性化

事業計画 No.3-②-52 No.4-協-1/評価区分 20、22



掩体壕・プロペラ展示の普及活動が結実

自治体見学会
新規5回
計100人
受入れ

●冊子「つばさに託して」配布による**教育効果**(府中市ふるさと文化財課、調布市郷土博物館、生涯学習課、武蔵野市市民部、三鷹市企画部)。

公開学習会
応募80人
強い関心

●終戦直後の調布飛行場で日本機を写真撮影した藤原氏の講話を聴く会が大注目。**マスコミ取材**も入り、歴史を後世に広く伝えた。



掩体壕内部を案内



熱気あふれる学習会会場

「何かやってる楽しい公園」～コロナ禍でのスタンダードが定着～

事業計画 No.3-②-50、110、111 No.4-イ-1、2、4 No.4-自-1、3 / 評価区分 20、23



季節を彩る多彩なイベントでおもてなし

シーズン	プログラム	内 容	参加数
GW	GWエンジョイパーク	クラフト、お絵描きなどセルフ参加で	1075
夏の夕暮れ	夕涼みフェスタ	氷柱室探し、クラフト、お絵描きなど	303
ハロウィン	おばけ探し	セルフ参加で園内探索	1462
クリスマス	リースづくり	クラフト大人向け、子供向け	62
春の祭典	むさ森フェスタ	昔遊び、巨大迷路、和太鼓競演など	680



GW、おつきなこのぼりにお絵描き



ハロウィンおばけをさがそう

期間限定「四季のクイズラリー」にファンが増加中!

春「花とみどり」、夏「昆虫」、秋「葉っぱと木の実」、冬「野鳥」で展開。「楽しくて、中身も工夫がいっぱい」と人気で、**固定ファン**が増えている。<参加総計1,111人>

のびのび親子館、利用者は昨年の1.5倍、年間36イベント

関係者調整を経て芝生地利用適正化

事業計画 No.3-②-75 No.4-協-3/評価区分 1

プロムナード脇芝生地が隣接野球場使用者のトレーニング行為により裸地化していた。関係者と協議し、4月～8月まで立ち入りを制限して養生、9月に適正利用呼び掛けの掲示と共に再解放、以降同様行為の発生なく、1年をかけて適正化達成。



2022年3月



2023年3月

オリンピックレガシーを伝承

事業計画 No.3-②-153 No.4-協-2/評価区分 32



レガシーサイクリング

都後援の1周年記念イベントの成功に貢献。

多摩自転車ロード

レース(来年度予定)

協力体制を構築

スタート!
<レガシーサイクリング>

メモリアル花壇を地域住民と協働管理

記念撮影スポットとして人気♪





小金井公園

所在地：小金井市、小平市、西東京市、武蔵野市
開園面積：80.5ha

まちと人と自然をつなぐ
武蔵野の大公園



公園連絡協議会発！ 地域連携で新しい遊び空間を創出



全力で掘る。親も楽しい！

「はらっぱワンデイトリップ」開催

- ① コロナ禍で利用分散促進のため、混み合う遊具より、開放的な広場での自然遊びを提案。
- ② 公園連絡協議会での「やってみたい」をヒントに、穴掘り大会「モグランプリ」を初開催。
- ③ 近隣から美味しいキッチンカーを誘致。イベントに300名参加。歓声が絶えない一日に。



「小金井公園モグランプリ」最高記録は15分間で深さ47cm！

こどもが主役の一日

「コココの日（小金井公園こどもの日）」開催

- ① こどもの想像・創造力を育む全10種類の外遊びで、1,000人が朗らかに秋の公園を満喫。
- ② 近隣の東京学芸大学と協働し、樹木を楽しむ「ぐり～んぐり～んガチャ」、創造性を引き出す「水のインスタレーション」で皆を夢中に。



水のインスタレーション



ぐり～んぐり～んガチャ



木の实クラフト



新キャラクター
「怪盗コガネイ」が
ぐり～んぐり～ん
ガチャをナビゲート

防災を「知ってる」から「やってみた」に変える



地域と一緒にやってみた3つの取組

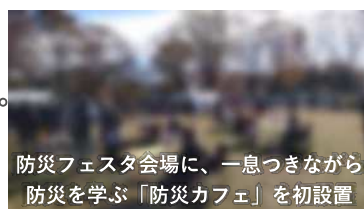
- ① 「防災フェスタ2022」では、地元4市の防災担当部署、消防、消防団、警察、自衛隊、江戸東京たてもの園、NPO等と協働し、地域の人々が地域の人へ備えの大切さを啓発。防災カフェを新設し、緩急ある空間を提供。
- ② 夜の防災ワークショップ「よるぼうさい」を初開催。暗さや寒さの中で防災体験を共有。
- ③ 公園職員対象の「防災施設運用訓練」に、中学生や近隣住民が参加。防災施設運用や要支援者対応を通じ、防災時の緊張感を共有。



防災フェスタには4,000人来場



夜の「防災トイレ」訓練



防災フェスタ会場に、一息つきながら防災を学ぶ「防災カフェ」を初設置



中学生と一緒に防災訓練



公園は発見と学びの宝庫です 【公園のがっこうプロジェクト】



(1)公園の自然の中で、SDGsを学ぶ

○園内で発生した剪定枝等を有効活用し、雑木林内で環状のコンポスト(バイオネスト)を近隣小学校の児童120名と共同制作。後日、児童との清掃で集めた落葉をコンポストへ投入。腐葉土への変化を来園者と共に見守っていく。



1



2



3



4

ドーナツ形の粗朶のように枝を編み、落ち葉を投入

(2)公園で地域交流

○公園ボランティアと学校をめぐり合わせ、かつフィールドとして公園を提供。ボランティアの意欲向上と活動PRも図れる等、指定管理者が地域交流のハブとして機能。



ボランティアが講師になり授業

(3)地域で公園を守る

○1年間の学びを活かし、児童が公園を守るためのポスターを制作。桜や鳥の保護等と呼びかけ、地域の共感を得た。



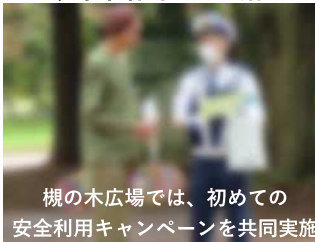
二つ池の景観保護を呼びかける

スケーターの皆さん、すべらない話とすべる話をしよう

1

スケートボード利用者のマナーアップ対策

- ①警察との協働で広場の安全利用を呼びかけ。
- ②巡回や掲示で、槻の木広場での滑るルールと、園路等での滑らないルールを周知徹底。



槻の木広場では、初めての安全利用キャンペーンを共同実施



利用者との積極的な対話による施設修繕

○老朽化した路面の補修に際し、スケーターの声を聴き、相互理解を進めて、協力的な関係を構築。双方が納得できる補修を実施。



滑りやすさと直しやすさを話し合って補修



備えあれば、陰り無し！



ヘリポート予定地の照明環境改善

- ①ヘリポート用照明設備を実施検証し、都と協議の上で周辺樹木を伐採。照射範囲を拡大。
- ②夜の防災施設点検を適宜実施し、職員の災害対応力を維持。



いこいの広場



人も桜も快適な広場を維持



外来種オオブタクサ除去による環境改善

○桜の園では猛暑等により重点対策外来種のオオブタクサが想定外の繁茂。重点的な除去により、サクラの生育環境改善とアレルギーへの不安解消を実現。



桜の園





東村山中央公園

所在地：東村山市／開園面積：12.10ha

「人々の和」から地域を
輝かせる元気いっぱいの公園



公園が核となったアニメイベントで世界に地域の魅力を発信！

事業計画 No.3- ②-18、118 / 評価区分 23



産（企業・商店街）・学（高校）・官（市役所・公園）連携で地域の魅力アップ↑↑↑

- 公園から7団体（東村山市、KADOKAWA、西武鉄道、商店会（2ヶ所）、アニメツーリズム協会、都立東村山西高校）に働きかけてアニメ「女子高生の無駄づかい」の舞台となった公園、商店街等の5ヶ所を巡るスタンプラリーを開催。
- 全国各地のファンや外国人、地域の子どもから大人など予定の1,000人を大きく上回る参加者からは、「期間中3回公園へ行きました」「公園の案内板 全部写真撮った」と大好評！



様々な媒体で幅広く発信したイベントは地域振興に貢献！



アニメや漫画のモデル
になったゆかりの店や
商店街でお買い物

作者ビーノ先生から
喜びのコメント♪

SNS発信♪

「訪れてみたい日本のアニメ
の聖地88」2023年版に認定

◆参加団体にポスター掲出やHP・SNSなどの広報の全面協力を依頼

結果、Twitterインプレッション数は前年度97,711回から
325,818回（スタンプラリー期間中）になり、約3倍へと激増。

フォロワー数
131%↑

◆参加者から「毎年恒例にしてほしい」「地元でイベント本当に嬉しい」
「初めて公園に来ました、自然があって本当に素敵、また来たい」
と地域振興、地元愛の醸成、公園を知るきっかけに！



公園は初めてチョウに出会う場所

事業計画 No.3-②-44、46/③-32/評価区分6

4

15

バタフライガーデンの充実と横展開

- 希少種のチョウを呼び込むため、食草のカワラケツメイや吸蜜植物を4公園と連携し、14種96株を植栽。日本鱗翅学会の基調講演ではバタフライガーデンのバイオニアとして事例紹介。



生き物のつながりを知る

- 幼虫や食草を「見て、触って、嗅ぐ」体験により、蝶の生態系を楽しみながら学ぶ場の自然観察会を提供。



危険な生き物の周知が役立った！

事業計画 No.3-②-48/③-54/評価区分14

4

安全・安心につなげた自然観察会

- 自然観察会では必ずカエンタケやスズメバチなど、危険な生物について画像や実物で解説。

公園で見たら教えてね！



- 職員の説明を覚えていた子どもから2件のカエンタケ発見の情報提供あり！！

早期解決（除去）で来園者の安心・安全↑



捕獲したスズメバチ

絶滅危惧種が生息できる環境づくり

事業計画 No.3-③-60/評価区分5

17

- 生物多様性保全整備実施設計工事に合わせ、GISで記録した工事エリア内にある絶滅危惧種アズマイチゲ等の自生地を保全。
- 都工事担当者へ動植物の生息情報を提供
- 野鳥観察舎屋根の張替え・壁面塗装を実施。
- 快適に自然観察が楽しめる公園の魅力UP↑



好きな時にお花とふれあえるよ

事業計画 No.3-②-36、136 / No.4-協-1 / 評価区分22

17

花壇除草、ポピーの花摘み体験などができる「気ままにボランティア」の提供や警察署・近隣八坂小と車窓から見える花壇の花苗植付け体験。



参加者 1,412人

対前年度比 130%↑

いつ公園に来て活動できるよう地域連携や環境整備を万全にし、来園者の公園への愛着を醸成

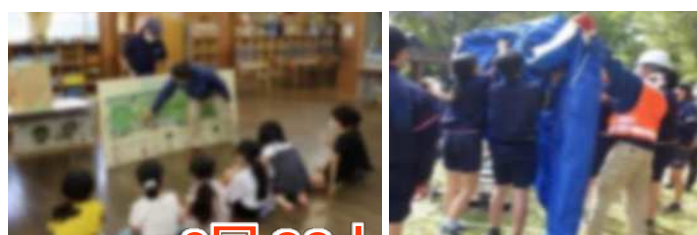
地域が一体で守る！ 防災力の底上げ

事業計画 No.3-③-20/④-14、67、68、70/No.4-協-3/評価区分13

11

幅広い年齢層や要配慮者と地域連携防災訓練

東村山消防少年団・特別支援学級の中学生、自治会と連携した「介護予防大作戦in東村山」との防災訓練、近隣の2児童クラブへ出張防災訓練を初実施。



計 6回 99人と地域防災訓練を実施

- ◆特別支援学級との協働訓練は職員の練成向上に！
- ◆若い世代に公園の防災機能を伝え、防災意識を醸成

地域の人命救助をサポート

事業計画 No.3-②-76/評価区分32

3

ドクターヘリ 運用に向けた全面協力



都福祉保健局と運用に向けた協議を重ね、受入れフローチャートを作成。

緊急車両進入路確保のため樹木を剪定。

12月15日から都立公園初のドクターヘリ事業導入に貢献。着陸時は迅速対応！



東大和南公園

所在地：東大和市／開園面積：9.87ha

公園の魅力を地元みんなで発信！
地域が愛する「みなみこうえん」



みなみこうえん祭開催 公園と市民が地域一体となってDancing in the park

事業計画 No.3-②-19, 111 No.4-自-3／評価区分 23

Dancing in the parkをテーマに地域と連携。地域ならではの多彩なプログラムを提供

●東大和市で活動する団体やアーティスト、近隣高校と**新たに連携**を取り、**地域の特性を生かした**ステージプログラムの実施やワークショップ、ボルダリング体験、昔あそびやリサイクル素材を活用した遊びコーナーなど多彩なプログラムを展開、市役所との継続した協力関係による地元キャラクターによるふれあい体験の等を行い、**公園から地域の魅力を発信**。



朝日新聞折り込み等による広報効果で、来園者は前回の10倍の約7,000人に

●近隣施設、多摩モノレール、近隣住宅900世帯へのチラシ配布等に加え朝日新聞の協力のもと、**地元情報誌の新聞折込実施**による広報効果により、来園者は前回開催の100人から大幅に増加し、満足度の高いプログラムを提供。参加団体からは次回も協力したいとの声を多数いただき、地域の団体との**継続的な協力関係を構築**。



- ◆地域の団体と新たに連携をとった新規プログラムの発信により、**地域活性化に貢献**することができた。
- ◆周辺地域への広報強化により**多くの地域住民に公園の魅力を発信**することができた。
- ◆満足度の高いプログラムにより、自治体や地域の団体との**継続した連携強化**に繋がった。



いつでも快適にプレイ！スポーツ施設の的確な維持管理

事業計画 No.3-③-37 / 評価区分 2

復旧工事に併せた施設補修やスポーツ施設の定期的な維持管理

- テニスコートの利用再開にあわせ、施設補修や風防ネットの設置を行い、夏期の熱中症対策として各ベンチに日よけシェードを設置するなど、**利用者のニーズに沿った**スポーツ施設の維持管理を実施。落葉の季節は毎日利用開始前にコート内を清掃することで、利用者により**快適にスポーツを楽しんでいただく**環境を提供。
- 利用頻度の高い休日の前に、草刈りやラインだし等の野球場整備を継続して実施し、スポーツ施設の点検を毎日行うことで、テニスコートのネット巻き機や審判台の不具合に迅速に対応、**いつでも楽しめるスポーツ施設**として、スポーツの利用促進に貢献。



運動広場を活用したかけっこ教室やSDGsスポーツイベントを新規開催

事業計画 No.3-②-37 / 評価区分 20

実戦経験のある選手指導かけっこ教室

- 全日本実業団ランニングチームと**新たに連携**し、子ども向けのかげっこ教室を開催。体を動かす基礎や走るコツを**年齢に沿った講師のマンツーマンの指導**により実施。運動広場を活用し参加者に満足度の高いプログラムを提供。



ジョギングしながらゴミ拾い

- 民間団体と協力しジョギングとゴミ拾いをかけあわせたイベントを開催。ゴミ処理場の熱を活用した近隣施設の足湯への立ち寄りなど、**地域一体となった環境美化活動**により**美観向上**。



公園が主体となり、4年ぶりに地域一体となった防災フェスタ開催

事業計画 No.3-②-94, ④-64 No.4-自-4 / 評価区分 23

3月11日に開催！改めて震災を見つめ、震災の教訓を伝え続ける機会に

- 初の公園主催**「防災フェスタ」を開催。地元の関係団体14団体と連携し、様々な防災体験プログラムを実施。近隣の国立音楽大学や東大和少年少女合唱団による演奏や合唱で観客を魅了し、地元出身アーティストで防災士の林家まると子カレー子氏による「防災漫才」や歌と踊りで学ぶ「防災ソング」で楽しく防災について学ぶ機会を提供。

- ◆警察・消防・自治体等14団体と連携し、水消火器体験や車いす体験等の多様な防災体験プログラムを実施。
- ◆歌や漫才等で感情に訴え、防災普及啓発を促進。





秋留台公園

所在地：あきる野市／開園面積：11.84ha

誰もが笑顔に！
地元に愛される、優しい公園



障害のある方もない方も笑顔が溢れ出す「ユニバーサルスポーツ祭2022」

事業計画 No.3-②-20、38/No.4-イ-4 / 評価区分 20

9組織からなる実行委員会形式で、地域でつくるスポーツイベント

- 「障害のある方もない方も一緒にスポーツを楽しもう！」をコンセプトに開催。
- あきる野市役所、障がい者関連団体9組織と30回以上打ち合わせを重ね、専門家や施設受け入れ経験者の意見を反映し、自由に楽しめる空間を創出
- 近隣の中高生もボランティアとして運営に参加し、ユニバーサル教育の機会とした。
- 全天候型の第3種公認陸上競技場を使用し、西多摩東部地域におけるスポーツ・レクリエーションの拠点として重要な役割であることを広く周知。

内容を一新！
10種のプログラム構成★



参加者 **200**人 ボランティア **100**人超

バラ園を地域と一緒に愛でる取組「ローズフェスタ2022」

事業計画 No.3-②-20、84、114/No.3-③-86/No.4-協-1、自-1 / 評価区分 23



地域の演奏家や学校等と一緒に魅力向上！

バラの各品種の作出国の曲をフルートで生演奏、秋留台高校の合唱&吹奏楽コンサートの他、ボランティアによるワークショップを開催し、都民協働の輪を広げた。コロナ禍で販売の場が無くなった障害者施設やケータリング業者による飲食や物品販売を行い、地域活性化の場を創出。ガイドツアーやパネル展示、他公園と連携したSNSによる情報発信等、様々な手段で公園の魅力を広く普及。



音楽と一体で文化を感じるイベント



新たな連携先！



剪定のコツ
3枚葉の下を切ると
2番花が咲きます

期間来園者 **36,000**人

- ◆地域住民によるコンサートの開催や販売、ワークショップの開催等、地域一体となって開催。
- ◆集合型とセルフガイドを両方取り入れ、コロナ禍での多様なニーズに対応。



WANTED! クビアカ ～みんなで捕まえ＆みんなでSTUDY～

事業計画 No.3-③-42 / 評価区分 6



園内の安全確保・事故未然防止

- 毎日アメニティ巡回で点検実施。
- 樹幹深く追い込んで幼虫を捕獲処理＆薬剤注入。
- 場所・日時・高さを地図上に記録、複数年で比較。
- **サクラ他対象116本**を定期点検。



子ども達に捕獲協力呼びかけ

園内ポスター掲示＆チラシ配布、twitter等で呼びかけを実施。



特定外来生物の危険性を周知

小峰公園と協力して「地域のカミキリムシについて学ぼう」資料を**150部**配布。



◆ 毎日の迅速処理と記録＆報告徹底し、市環境政策課と地域情報交換継続。

◆ 子どもが捕獲することで特定外来生物の危険性を勉強する機会を提供。

関心が薄かった層にも、防災に関する普及啓発を！

事業計画 No.3-④-14、41、68、70、71/No.4-協-3 / 評価区分 13



地域連携で「インクルーシブな防災訓練」

- あきる野障がい施設の利用者と近隣高校による参集訓練。
- 施設長による障がい者の接し方やマナーなどの講習会。
- 災害時に役立つインクルーシブな防災知識の体験。



◆ 災害時を想定した近隣施設や企業との協力関係の構築。

◆ 近隣学生に災害時の基本的な心構えやノウハウを共有。

デイキャンプで楽しく学ぶ「防災」

民間キャンプ用品専門店や消防署と連携し、災害時に役立つキャンプスキルを家族で体験するイベントを実施。



地域の方々との顔の見える協力体制 ～愛着効果で感謝の言葉に～

事業計画 No.3-②-72 / 評価区分 22

近隣高校生の絵画&イエローチョーク作戦！

高校生が社会貢献する場を提供。都立秋留台高校美術部員が自主的に**マナーアップ啓発**（犬の糞放置や煙草のポイ捨て禁止）の**ポスター**を作成し、公園職員と一緒に園内を掲示して回った。

来園者みんなが優しい気持ちで自然とマナーアップ

来園者からも可愛いと大好評！



発見した日時を記載することで、糞を放置したことを周知し、自己認識におけるマナー向上の促進。

